

【 城山学園教育目標 】 になりたい自分に向かって挑戦し、愛される ふるさとを地域と共につくる子供の育成
ー城山学園レインボープロジェクトの推進ー

赤間小学校重点目標：挑戦する楽しさを味わい、みんなで課題を解決する子供の育成

教育課題

- 自己肯定感の耕し
- 不登校児童への組織的対応
- 確かな学力の育成

目指す子どもの姿

自立する子供：「なぜかな」「知りたいな」など、知的好奇心を旺盛に働かせ、進んで取り組む子供
 挑戦する子供：「～になりたい」「～したい」など、最後まで粘り強く取り組む子供
 関わり合う子供：「それいいね」「一緒にしよう」など、関わり合う喜びを感じ、高め合う子供

経営の重点：「働きがいと働きやすさを実感する協働体制の構築」

【働きがい】

○教職員一人一人が「求める子どもの姿」やそのための取組みを出し合う協議の場の設定とそれらを取り入れた経営構想の作成

【働きやすさ】

○効率化、標準化、組織化、明確化の観点からの協働体制の構築
 ○チーム発案による月の行動目標の設定

経営課題

- 教師の実践的指導力の向上
- 時間外在校時間の縮減に向けた協働的な校務運営
- 地域とのつながりを実感させる家庭・地域との連携

「鍛ほめ福岡メソッド」の考え方を踏まえた活動の展開
 ・赤間っ子検定 ・1校1取組み ・読書貯金 等

実践的指導力向上のため校内で学び合う仕組みの継続と発展
 ・校内留学 ・ミニ講座 ・職場自主研修 等

自立する子供

挑戦する子供

関わる子供

働き方改革

指標

「自分にはよいところがある」①肯定的回答：85%以上 ②「全く思わない」と回答：R7から一人でも減らす 【R7 ①78% ②53人】

- ①「わかった」「できた」と思うことがある94%以上(R7 93.4%)
- ②標準学力テストで同一集団において評価1の児童を一人でも減らす

- 目標を決め最後まで粘り強く取り組む90%以上(R7 88.2%)

- 相手に対して思いやりのある言動をしている92%以上(R7 91.2%)

- 全学年教科担任制の実施
- ICT活用による業務改善
- 「業務の効率化」等の観点からの衛生委員会の実施

危機管理

法令遵守、危機管理等を示した「赤間小のしおり」の全職員への配布と効果的な活用

学校評価

重点目標達成状況の分析

城山学園学園運営協議会

- 子供の成長を促す取組の推進
- 「城山っ子の約束」の学園運営協議会名での周知
- 学校関係者評価による学園の取組の見直し

主な取組み

学校



- 主に「学びチーム」発案による「分かった」「できた」を実感させる主題研修・一般研修の促進
- 「安心して過ごす教室をつくる赤間小10の心得」の浸透と徹底

- 主に「体チーム」発案による自己肯定感を高め取組みの推進
- ・スポコン広場の活用等による1校1取組みの推進
- 実践的な防災、防犯訓練の促進

- 主に「心チーム」発案による不登校対策等、自己肯定感を高める取組みの推進
- 委員会活動からの発案による異年齢・異学年交流の促進
- 「憧れ一憧れられる関係」を生み出す異学年交流の促進

「あっかまん」の合言葉（「あさとはな」の挨拶、「つけよう名札」「かならず歩こう」「まっすぐそろえよう」「んーときれいに」）の浸透

学園



- 城山学園スタンダードの徹底による学ぶ基盤づくり
- UDの考え方を踏まえた授業改善を促進する城山学園版授業UDチェックリスト(学習環境版、授業づくり版)の計画的な活用

- 中学生ボランティア活動の受け入れなどによる小中連携事業の促進
- 地域への働きかけを促す「Jチャレンジ学習」の展開

- 小中間の交流を促進させる合同挨拶運動及び入学説明会時の交流などの計画的な実施
- 小学校間の交流を促進する合同宿泊学習の実施

「城山学園レインボープロジェクト」に即した実践の展開